

ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

NO.1124

16.10.18

県の奨学金返還助成制度

前号は市が創設した奨学金返還助成制度の概要を
報告しましたが、今回は、県が今年度から創設した
奨学金返還助成制度の概要について紹介します。

理系人材の奨学金返還助成

和歌山県は、県内の製造
業やIT産業に就職した理
工系、情報系の学部出身者
に、最大一百万円の奨学金
返還金を助成する制度を創
設。交付には、認定を受け
たうえで、当該企業に3年
間勤務が条件となります。
この制度は奨学金返還助成制度



フリーの人々
いっしょ
ながさ
かなあんなー

いっしょ
ながさ
かなあんなー

政治家の選挙活動
MのYの
政治情勢
稲田防衛相

長期的には日本独自の
核保有を単なる議論や
精神論ではなく国家
戦略として検討すべき
2011年3月号「正論」
「稲田語録」

10月末まで2次募集中です

1次募集(5月末締め切)
50人に続き、2018年
10月31日まで卒業予定で理工
系(工学・農学・薬学など)・情
報系の学部・専攻科に在籍
する方まで10月末締め切で30人

2次募集しています。
募集要領や申請書、対象
企業名などは、和歌山県高
工観光労働部商工労働政策
局労働政策課のホームページ
をご覧ください。

業員以外の奨学金を返して
いる理工系(工学・農学・薬学
など)・情報系の学部・研究
科の学生が対象。和歌山県
内の製造業、情報通信業の
対象企業へ研究・技術開発
職として採用され、3年間
勤務した場合に、奨学金返
還額に相当する額を1百万
円を上限に助成します。
交付対象者は、書類審査
と面接により決定します。

和歌山 市政 ウォッチング

11月13日(日)

9:30 出発

和歌山市教育会館
(市教組)

参加費 1,000円
(昼食は持参して下さい)

マイクロバスで、
私・ひめだが案内します

伏魔中跡地、3大学
構想、和歌山市駅の図書
会館、西保健センター
などなど

説明資料も準備してお
申し込みは
441-2550 宅由女報

今週の フリーの人々

(その70)

防衛相の資格問われる
稲田用美防衛相が国会
で、自由の過去の発言を
野党から追及されていま
す。防衛相としての立場
と、タカ派の急先鋒の役
割を果たしてきた言動と
の矛盾が露呈し、防衛相
としての資力が厳しく問
われています。稲田防衛
相は日本の核兵器保有を
「国家戦略として検討す
べきだ」として自身の発
言(2011年3月号の「正
論」)について、「二日

の国会で「政治家として
の発言は、そのときの政治
情勢等によって発言内容
ももの「で」「を」を撤回
するつもりはない」と弁
明したといっています。
かつて中曽根元首相は、
「風高き次第は鶴が舞
い変わる」と「風見鶏」
と揶揄されましたが、発
言がクルクルと変わったも
軸のズレはない。稲田防衛
相こそ「ペンタの風見鶏」
「だ」とも、たまたまの風
見鶏は何と云ってしょう。



ひめだ高松

第6回 わかやま住民要求研究集会

10月16日(日)県民文化会館で開催された第6回わかやま住民要求研究集会の全体集会に参加しました。

記念講演は唐錦直義先生(女命館大学産業社会学部教授)の「日本における貧困の実態とこれからの社会保障」でした。唐錦先生は13年6月に和歌山県社会保険学校で楽しい講演を聞き度めです。先生の講演

の不思議なところは、深刻で厳しい話をするとともに、なぜかうれしそうに話しているものに引き込まれるの

やっぱり住居はおもしろい

10月14日(金)市民会館大ホールで和歌山演劇鑑賞会10月例会、劇団青年座公演「横濱短篇ホテル」(マキノノゾミ・作、宮田慶彦・演出)を見ました。19

です。俳優の竹中直人さんの持ちネタの「笑いながら怒る人」のようで、ひとつの完成された話だと感じます。肝心の講演の中身は次号で報告します。

70年から5年毎の7つの話が老舗ホテルを舞台に展開します。あの時に逢う道を歩いたら入居者がどう変わったのか、とシミジミ考えさせられた会でした。

日本共産党

南スーダンに戦闘状態「戦闘行為ではない、勢力と勢力の衝突だ」。安倍自公政権は南スーダンの情勢について「このうそぶき陸上自衛隊PKO(国連平和維持活動)部

隊に「駆け付け警護」や「宿营地共同防護」といった新任務を付与しようとしています。しかし、同国の現状は、武力衝突により過去1週間で6人以上が死亡するなど、戦闘状態そのものです。「紛争当事者間の停戦合意」などのPKO参加原則は崩壊しており、撤退しかなければ

安倍自公政権は国連や非政府組織(NGO)関係者を救済するとして、「駆け付け警護」に踏み出そうとしています。安全保障制、戦時法では、敵対勢力の射殺を含む「任務遂行」のための武器使用が可能だとしています。憲法の条の禁じる武力行使そのものです。

潮流

(16.10.18 時時)

早くも来年の「米力レニダー」(水の文化研究所)が届きました。豊は文化であり、日本の文化は米づくりの上に築かれ、国土の自然は農民によって支えられてきた。それを忘れないで▼瑞穂の国が織りなす各地の風景から、作り手の込めた思いが伝わります。来年の秋刈をめぐると写真は新潟・長岡の稲干し。はじめて使った刈り取った稲を干していく老夫婦のあうんの呼吸に、稲作民族ならではの優しさがある▼米づくりは日本人の原風景。その米の生産量が全国トップの新潟で新しいリーダーが誕生しました。市民と野党の統一候補としてたたかいた米山隆一さんです。原案再稼働ストップ、TPPから新潟の農業を守るために全力を尽くす▼原爆事故を起

した福島では5年半を過ぎた今も8万5千人を超える人びとが県内外に避難しています。生まれ育った地を奪い取った生活のすべてを奪い取る。巨大企業のもうけのために国の形を変えてしまつたTPPも同罪です。▼南相馬市で3代にわたる農業を生業としてきた男性は米づくりをあきらめませんでした。3年間の作付け自粛で地域は荒廃。意欲も展望もなく「人生の方向を失わされた」。本紙「福島に生きる」でこみ上げる悔しさと怒りを▼毎年、米の播種編んでまた環境問題評論家の富山和子さんは「原発もTPPも、営々と育んでもこの国の美しい自然と文化を壊すもの。次の世代に送ってはならない」。参院選について新潟県民が示した意思。それも、未来への責任。でした。

日刊「赤旗」を購読してください。
「赤旗」日刊誌3千9百74号